

<事業報告>

詳細は18年度活動報告書参照。

1. 会議体関係

- ・理事会、総会、対外加盟団体の県レク理事会・評議員会等は計画通り対応した。

2. 主催・主管イベント

(1).オリエンテーリング大会の開催

- ・恒例の由加山県民大会を廣大岡大主催大会に譲ったため昨年より1つ少ない5大会開催となった。
参加者総数は215組326名で前年の281組407名から約2割減となったが、由加山大会分を考慮しても1割以上減っており、特に個人の参加減が顕著であった。この数年ほぼ横ばい状態であったが既存トレインでの繰り返し開催が飽きられたか?単に他と重なったためか?。十分検証する必要がある。

(2).その他イベントの開催

- ・要請に基づき廣大岡大員を対象に大会運営研修会を開催し廣大岡大から4名が参加した。
- ・2回予定していた基本技術教室兼練習会は諸般の事情で中止した。

3. 協力イベント

- ・復活廣大岡大大会開催に際し、地元との折衝、地図備品の提供、当日運営の協力をした。
- ・きのこグループ新入職員研修の流れをくむ協同組合おかやま医療法人ネットワークの研修オリエンテーリングを春、秋2回開催した。(69名参加)
- ・運営協力予定の白石島トレイルランは都合により1年延期となった。

4. その他の取り組み

- ・大会開催に合わせてのOMAP作成整備(マーキング含め延べ18日、前年は25日)。
なお、くらしき山陽ハイツからの要請に基づき、4月開催のために山陽ハイツのOMAPを新規作成。
- ・廣大岡大対象研修を踏まえ、大会運営手順マニュアルを作成整備した。
- ・県内パーマネントコースは、岡山操山、白石島は問題なく利用可能だが、他は利用に適さないと告知済。
- ・全日本リレーはME、MS、MJの3クラスにエントリー(MSは兵庫県との連合)。
なお、都道府県順位は17位/28であった。
- ・競技者登録、認定指導者の更新登録およびスポーツ安全保険加入事務は引き続き対応した。
- ・近畿地区の主として大会開催日程を調整し重ならないようにするのが主目的の近畿OL連絡会に加入した。
- ・事務局定例業務は通常通り実施。(コントロールユニット161,162を追加購入、A3プリンタ買い替え)

<会計報告>

詳細は18年度収支決算報告書参照。

・収入

実質期首計画より約4万円減。主な増は謝金3.5万円。主な減はイベント参加費4.5万円、競技者・指導者登録料・スポ安保険料2万円。

・支出

実質期首計画より約3万円増。主な増はEMIT関係3.5万円、運営所費1万円。主な減はイベント運営費2万円。

- ・期首計画に対し約5.5万円減の3.5万円のマイナスとなった(前年は3.9万円のマイナス)。

10月の中間報告時約1.6万円プラス見込みからの差の要因はイベント参加費減とEMIT関係費増。

<総括>

- ・イベント参加者が減少しており、開催内容とトレイン、他と競合しない日程設定などの見直しを含めた検討が必要である。主催・主管イベント、協力イベントの基本スタンスの見直しも必要かもしれない。
- ・今年度収支改善を図って大会参加費の値上げを実施したが、参加者減で帳消しとなった。さらなる値上げを行うか、大きな収入を得られるイベントを行うか、もう少し様子見したい。
- ・後期高齢者がどんどん増え、現執行体制では本当に土俵で後がなくなって来ており、アクシデントにも対応できる運営体制の確認と構築が必要。

以上